

II-② 令和元年度 相談部会活動報告

令和元年度活動方針「ケアマネジメントの視点と計画相談支援の充実」

事務局：南区基幹相談支援センター・南区高齢・障害支援課

参加機関：AIM コンサルテーションサポート、横浜市福祉サービス協会南介護事業所、たすけあいゆい相談支援センター、相談支援事業所のぞみ介護、はるかぜ、横浜 SSJ 相談支援室、マザーライクケアセンター南、メープル訪問介護、相談支援センターにじ、相談支援事業所りんどろ、ぴいすサポート、居宅介護支援センター白朋苑、指定特定相談支援事業所 BB、中部地域療育センター、地域生活支援センターこむつみ、大石介護相談室、南区生活支援センター、地域活動ホームどんとこい・みなみ

日時	内容	トピックス
令和元年 5 月 13 日 (月)13:30~15:00	1.各事業所の状況、意見交換 2.部会についての意見交換 ・ 次回の出欠確認とあわせてアンケートを実施するので協力を依頼している。 3.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭管理が難しい方への支援について ・ ヘルパーさんが続かず、事業所探しが難航している方への支援について ・ 体制加算、サービス提供時モニタリング加算の取り扱いについて ・ モニタリングの時間に本人の工賃が算定されなくなる場合について
令和元年 7 月 8 日 (月)13:30~15:00	1.各事業所の状況、情報交換 2.アンケートについて 3.事例検討(相談支援センターにじ) ・ セルフネグレクトの外国籍の方への支援について検討をしている。 4.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実地指導についての共有 ・ 計画相談と施設(通所、GH、入所)職員との役割について認識についてはこれからも変化していくので当面はケースバイケース。 ・ 計画相談の業務の流れや不明点についての共有の必要性について今さら聞けない事などアンケートなど工夫ができればしていく。
令和元年 9 月 9 日 (月)13:30~15:00	台風により中止としている。	
令和元年 11 月 11 日 (月)13:30~15:00	1.各事業所の状況、情報交換 2.事例検討(ぴいすサポート) ・ 身体・知的重複の方への医療アプローチ、多職種連携、支援スキルやかかわり方について検討。 3.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急対応初動チェックリストについて事務局より説明。 ・ 自殺対策研修についての周知。
令和元年年 1 月 20 日 (月)13:30~15:00	1.各事業所の状況、情報交換 2.事例紹介(相談支援センターにじ) ・ 複合性局所疼痛症候群でパーソナリティ障害の方への支援について検討。役割分担、枠組みの提示などアイデアが出ていた。 3.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、日中活動先、区 SW からの依頼が多いが、家族からの場合は名簿の上から順番に連絡をしてくれていて、ことわざらざるを得い状況が伝わらず怒られてしまう。 ・ 緊急時予防対応プランについて基幹より説明している。 ・ 地域生活支援拠点説明会の周知。

日時	内容	トピックス
令和元年 3 月 9 日 (月)13:30～15:00	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	

令和元年度の振り返り

本年度はセルフネグレクト、パーソナリティ障害など支援困難な事例について学ぶ機会を得ることができたのと同時に、計画相談として関りが困難な方々を担当している現状については、各事業所の力量の高さを確認できる良い機会となった。

Ⅲ 南区地域自立支援協議会に位置付けるその他活動 活動報告

1 スキルアップ研修

今年度も、事務局及び各機関職員のスキルアップと顔の見える関係の構築を図るため、昨年に引き続き構成団体・機関の方々に御協力をいただきスキルアップ研修を実施。今年度は8月から12月の間に20の受け入れ機関に対して、延べ人数で138名の受講申し込みがあった。

2 公開講座

地域自立支援協議会として区民向けの講座を実施。令和元年12月6日(金)13:00～16:00南公会堂にて、「Given～いま、ここ、にある しあわせ～上映と高橋夏子監督と出演ご家族講演会」を実施し245名の参加があった。作業所等の協力を得て「ほのぼのグッズ」の販売、にこにこみなみのコーヒー販売を行っている。また、南区障がい児者団体連絡会の作品展を同時開催。地域住民を対象とした啓発活動を継続していく事で、地域で暮らす障がい者への理解を深めていく事を目的としている。

3 南区卒業生進路懇談会

令和元年7月16日(火)に本年度1回目の懇談会を実施。南区在住で令和2年3月卒業予定者一覧表の内容を各学校の進路担当から状況報告を受けて、各支援機関と意見交換をする形を取っている。

令和2年1月21日(火)に二回目の進路懇談会を実施。進路が決定していない方の支援などについて具体的な調整などを行う機会としている。昨年同様、地域的には進路の受け入れ先が少ない状況が続いており、とりわけ身体障害の方や医療的ケアがある方の進路については平日の5日間を埋められず、在宅も含めたウィークリーの検討が必要な状況があるとの報告があった。また、令和2年度からインクルーシブ教育実践校が14校に増加することに伴い、卒後の進路についての検討がどこまで期待できるのか未知数であるとの報告も出ていた。